

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	内部研修の年間計画を立てて月1回勉強会を開いているが、積極的に参加する職員が決まってきている。また、職員数にゆとりが無い時には、外部研修への参加の機会が少なくなっている	入居者様に安心して生活して頂くという目的意識を持って、積極的に勉強会や外部研修に参加し、介護職員として必要な知識や実践力を身につけ、質の高い介護が提供できる	・介護リーダーが中心となり、自分達が学びたい事や内容を年間内部研修計画に組み込む ・どうしても勉強会に出席できない職員は、資料をや勉強会報告書に目を通して確認する ・管理者は職員の知識や能力に応じた外部研修への参加を促し、シフト調整する	12ヶ月
2	27	職員の介護記録の記載やチェック表の読み取り能力に差があり、看護師等が使用する医学用語や略語は介護職員にとっては分かり難いことが多い	職員が記録物は入居者様の物であり、その記録の内容は自分達が提供したケアの証明であることの理解を深め、職員が記載し易く誰にでも分かり易い記録様式が整備できる	・現状の介護記録やチェック表の記載し難い点や把握し難い点を職員から聴取する ・介護記録の外部研修に参加する ・正社員が中心となり、記載し易く入居者様の状況が把握し易い様式について検討する ・略語集を作成して略語の統一を図る	12ヶ月
3	35	火災や地震発生時の対応マニュアルに基づき、年2回の消防訓練と年1回の地震や風水害を想定した避難訓練を行い、水や非常食の備蓄にも努めているが、非常災害対策計画が整備されていない	火災、地震、風水害の災害発生時や不審者侵入等の事故発生時に備えた計画書を整備し、全職員が避難方法を理解・把握して対応できる	・防火管理者が中心になって、現状の火災・地震・風水害発生時のマニュアルを見直し、避難開始時期や判断基準等を含んだ対策計画書を作成する ・年1回防犯訓練を実施し、職員で安全対策の意見を出し合って防犯マニュアルを作成する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。